



大和協力

学校目標：～夢や目標をもち、思いやりの心とチャレンジ精神に満ちあふれた生徒の育成～

【第10号】令和8年6月26日発行

発行者 佐賀市立大和中学校

文責 木村 信人

<https://www.education.saga.jp/hp/yamato-j/>



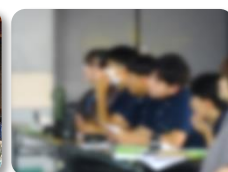
3年生 高校説明会

6月4日(木)に第1回高校説明会(私立高校6校、県立高校2校)、18日(木)に第2回高校説明会(県立高校8校)を実施しました。高校の先生方から、各学校の特色や魅力、学習内容や学校生活について直接話を聞くことができる貴重な機会となりました。

生徒たちは真剣な表情で話に耳を傾け、進路について考える時間となったようです。3年生の中には、まだ進路がはっきり決まっていない人もいます。しかし、焦る必要はありません。今回の説明会を通して、「どのようなことを高校で学びたいか」「どのようなことに挑戦したいか」「将来どのような自分になりたいか」など、自分自身に問いかけながら進路について考えるきっかけになったことと思います。

進路選択は、自分自身で決めていく大切な選択です。今回の高校説明会で聞いた話や得た情報を参考にしながら、進路について考えてほしいと思います。

保護者の方々も多数のご参加ありがとうございました。高校の先生方が、大和中学校保護者の参観数の多さに驚いていらっしゃいました。



中体連(バドミントン部、ソフトボール部)先陣を切って



6月20日(土)・21日(日)、佐賀県中学校総合体育大会が開幕し、本校では先陣を切ってバドミントン部とソフトボール部が競技に臨みました。選手たちはこれまでの練習で培ってきた力を発揮しようと、一つ一つのプレーに集中し、最後まであきらめずに戦う姿が心に残りました。仲間と声を掛け合いながら競技に向かう姿も大変頼もしく感じられました。

バドミントン競技では、女子団体が第3位、男子団体がベスト8に入るなど健闘しました。また、個人戦でも多くの選手が上位進出を果たしました。ソフトボール部も最後まで粘り強い戦いを見せ、健闘しました。結果は以下のとおりです。

(ホームページ用では、鮮明な顔写真や生徒名は載せておりません)

- バドミントン競技
 - 【男子団体】ベスト8
 - 【女子団体】第3位
 - 【男子シングルス】2回戦惜敗 3名 1回戦惜敗 1名
 - 【女子シングルス】4回戦惜敗 1名 3回戦惜敗 3名
 - 【男子ダブルス】ベスト8 1ペア、3回戦惜敗 1ペア、2回戦惜敗 2ペア
 - 【女子ダブルス】ベスト8 1ペア、3回戦惜敗 2ペア、2回戦惜敗 1ペア
- ソフトボール競技 2回戦惜敗



「世界が応援したくなる理由」

最近ネットで、「なぜ世界の人たちは日本人を応援するのか」という記事を読みました。その記事では、現在アメリカ、カナダ、メキシコで開催されているサッカーワールドカップを例に、日本人が多くの国の人々から好意的に受け止められている理由が紹介されていました。

その理由は、試合の強さだけではなく、サッカー日本代表のサポーターが、試合後にスタンドのゴミを拾って帰る姿や、大リーグで活躍する大谷翔平選手が、さりげなくゴミを拾う姿に、多くの人が感銘を受けているのです。

世界の人々が感心したのは、ゴミ拾いという行動そのものではなく、「自分だけでなく、周りの人や場所のことも大切にすること」にあるようで、みんなが気持ちよく過ごせるように行動する姿に共感し、「こういう日本人たちを、そんな、日本のチームを応援したい」と感じる人が増えているということでした。

この記事を読みながら、私は本校の無言清掃を思い出しました。無言清掃は、ただ学校をきれいにするための活動ではありません。そこには、「気づきの心」「我慢する心」「思いやりの心」「感謝の心」「正直な心」という五つの心を育てる大切な意味があります。

よごれや乱れに気づき、自ら行動すること。最後まで粘り強く取り組むこと。次に使う人のことを考えること。学校や仲間への感謝を忘れないこと。そして、人が見ていなくても手を抜かず誠実に取り組むこと。こうした心は、世界の人々が日本人の姿に感心した理由とも重なります。

来月7月の生徒指導目標は「無言清掃」です。一人一人が五つの心を意識して取り組むことで、学校はさらに気持ちのよい環境になります。これからも無言清掃を通して心を磨き、互いを大切にする大和中学校をみんなでつくっていきましょう。



今後、学校 Web や学校だよりでの画像などの掲載で、都合が悪いことがありましたら本校教頭までお電話ください。